

南アメリカの産業と環境

世界の姿 日本の姿 気候と暮らし アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 **南アメリカ州** オセアニア州

今日の問い

南アメリカでは、開発と環境を守ることを、どう両立させようとしているのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 農業と鉱産資源

農業と資源

こうさんしげん
鉱産資源

鉄鉱石・銅・石油など、地下からとれる資源。

けいざい
モノカルチャー経済

少ない種類の農産物や資源の輸出にたよる経済。

ブラジルでは、植民地の時代から大農園で**さとうきび**や**コーヒー**が栽培され、どちらも生産量は世界有数である。かつてはコーヒーの輸出にたよる**モノカルチャー経済**だったが、近年は**大豆**や肉類の輸出がのび、工業も発展している。

南アメリカは**鉱産資源**が豊かで、ブラジルでは**鉄鉱石**、**チリ**では**銅**が多くとれ、日本にも輸出されている。



ブラジルの農業と鉱産資源

鉄鉱石はブラジルのカラジャスなどの鉱山から、銅はチリ北部の鉱山からとれる。大豆は中西部、コーヒーやさとうきびは南東部で多くつくられる。

2 アマゾンの開発と環境

開発と環境

やきはたのうぎょう
焼畑農業

森林を焼き、その灰を肥料にして作物を育てる農業。

バイオエタノール

さとうきびなどの植物からつくる燃料。バイオ燃料の一つ。

じぞくかのう かいほう
持続可能な開発

将来の世代のことも考え、環境を守りながら進める開発。

アマゾン川の流域では、先住民が森林を焼いた灰を肥料にする**焼畑農業**を行ってきた。1970年代からは道路がつくられ、牧場や畑、鉱山の開発のため大規模な**森林の伐採**が進んだ。熱帯雨林が減ると、地球温暖化が進むことや、多くの生物がすみ場所が失われることが心配されている。

ブラジルでは、さとうきびなどからつくる**バイオエタノール**(**バイオ燃料**)が自動車の燃料に使われている。植物が育つときに二酸化炭素を吸収するため、燃やしても大気中の二酸化炭素を増やしくいとされる。環境を守りながら開発を進める**持続可能な開発**が求められている。

問いへの答え

ブラジルでは、大豆や鉄鉱石などの輸出がのびて経済が成長した一方、アマゾン川の流域では牧場や畑、鉱山の開発のため森林の伐採が進み、熱帯雨林が減っている。そこで、さとうきびからつくるバイオエタノールを燃料に使うなど、環境を守りながら開発を進める持続可能な開発が求められている。

次は **ノート** で、下線に語句を書きながら確かめよう →

